

公開版

平成29年度 教育委員会 第17回定例会 議案

1 日 時 平成29年12月5日(火) 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 報告事項

(3) 議 事

<非>第29号議案 平成29年12月県議会定例会に提出する議案 ……非

<非>第30号議案 静岡県文化財保護審議会委員の任命 ……非

(4) 閉 会

静岡県教育委員会

第17回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	静岡県指定文化財の指定及び指定解除	1
配付 報告	平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果の市町公表状況	4
	三島田方地区特別支援学校(仮称)及び浜松地区特別支援学校(仮称)の概要	6

静岡県指定文化財の指定及び指定解除

(文化財保護課)

1 概 要

静岡県教育委員会は、平成 29 年 11 月 27 日 (月) に開催された静岡県文化財保護審議会の答申を受け、下記の県指定文化財の指定及び指定解除を決定した。

2 県指定文化財の指定

(1) 富士石遺跡出土石製装飾品(ふじいしいせきしゅつどせきせいそうしょくひん)

- ア 種 別 有形文化財 (考古資料)
イ 員 数 1 点
ウ 年 代 旧石器時代
エ 所 在 地 静岡市清水区蒲原5300-5 (静岡県埋蔵文化財センター)
オ 所 有 者 静岡県
カ 指 定 理 由 (指定基準: 考古資料の部 1)

富士石遺跡は県東部の駿東郡長泉町に所在し、愛鷹山の南東麓、標高 190m 付近の緩斜面に広がる遺跡である。新東名の建設に伴い、平成 12 年度から 21 年度まで発掘調査が行われ、旧石器時代から近世にかけての遺構や遺物が発見された。発見された遺構・遺物から、約 3 万年前から永い年月にわたり繰り返し人々がこの地を利用していたことが明らかとなった。

出土遺物の中心となるものは、旧石器時代から縄文時代草創期の石器である。このうち、旧石器時代の石器は、地表下約 1 m から最大で約 7 m の深さから出土している。その一つに、中央部に穿孔を持つ石製品がある。

この石製品は、長さ約 9 cm、幅約 3.5 cm、厚さ約 1.5 cm の大きさで、白色で扁平な石材の中央やや上部には穿孔をもち、長側面の一边には 14 条の線刻が施されている。

このような特徴を持つ旧石器時代の石製品で本品のような比較的大型のものは、日本国内での出土例に限られる貴重なものである。

以上のことから、本石製装飾品は、旧石器時代の遺物として石材加工技術の高さを示すとともに、当時の人類の精神的な活動と社会との関連性を示唆する学術上重要な資料である。

(2) 坂ノ上薬師堂諸像(さかのかみやくしどうしよぞう)

- ア 種 別 有形文化財 (彫刻)
イ 員 数 16 軀
ウ 年 代 平安時代
エ 所 在 地 静岡市葵区坂ノ上867-4
オ 所 有 者 静岡市葵区坂ノ上町内会
カ 指 定 理 由 (指定基準: 絵画、彫刻の部 2、3)

静岡市葵区坂ノ上にある坂ノ上薬師堂は、静岡市北部に位置し、安倍川の支流である藁科川上流に所在する。坂ノ上町内会が管理する無住の寺で、坂ノ上町内を見渡すことができる小高い山腹に建っている。現在のお堂は昭和 4 年の建設であるが、江戸時代以前からこの地に薬師堂があったと伝えられている。

坂ノ上薬師堂には、10 世紀に造立されたと考えられる木彫像^{もくちようぞう}が 15 軀、12 世紀に造立されたと考えられる木彫像が 1 軀伝えられている。

10 世紀の諸像は作風や造法がほぼ類似し、共通する時期と環境の下で造立されたと考えられるが、顕教系尊像のほか、密教尊像や神仏習合を背景に造立されたと見られる像が含まれ、当地で多彩な信仰が展開していた様相がうかがえる。

また、使用されている樹種はカヤとヒノキに分かれるが、10 世紀は木彫像の材料の主流がカヤからヒノキへと転換する時期と考えられ、本諸像は、そうした状況を具体的に示す事例といえる。

さらに、本諸像は中央での造像傾向は踏まえながらも在地性が強く、10 世紀における地方での造像の実態を考えるうえで、貴重な事例といえる。

12 世紀の作と見られる薬師如来像は、一木造という古様な造法を示しながらも、当時の中央作（主に京都や奈良で造られていた仏像）に通じる作風を示し、その頃、当地において中央と密接な関係をもった造像が行なわれていたことを物語るものである。

以上、16 軀の諸像は、一木彫像がまとまって伝存しているとともに、県下において平安時代の中期から後期にかけて行なわれていた造像の実態を示す数少ない作例として貴重である。

3 県指定文化財の指定解除

(1) 太刀 無銘（伝元重）（たち むめい ぜんもとしげ）

ア 種 別 有形文化財（工芸）

イ 員 数 1 口^こ

ウ 県指定年月日 昭和36年3月28日

エ 所 有 者 個人

エ 指定解除の理由 県外移転

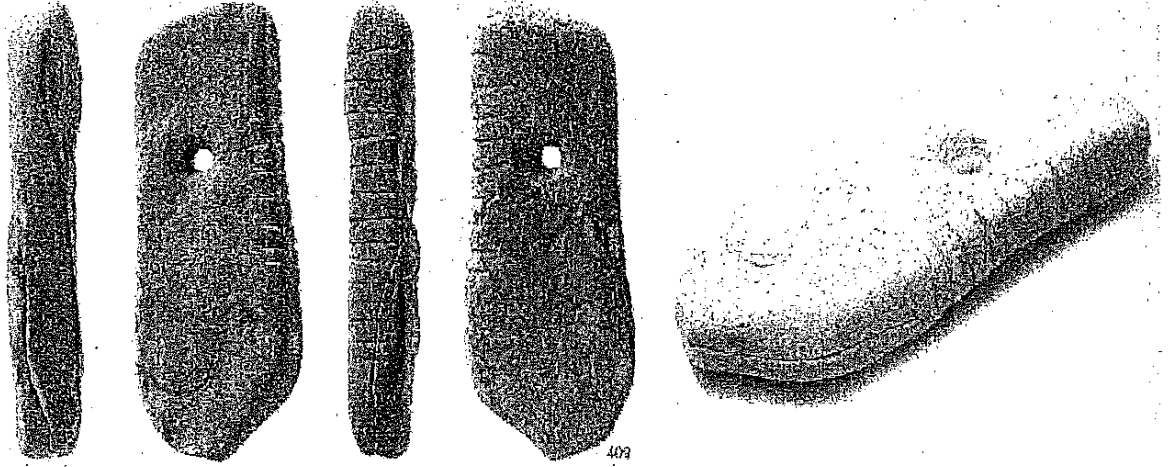
4 今後の予定

静岡県公報での告示により効力発生（平成 29 年 12 月予定）

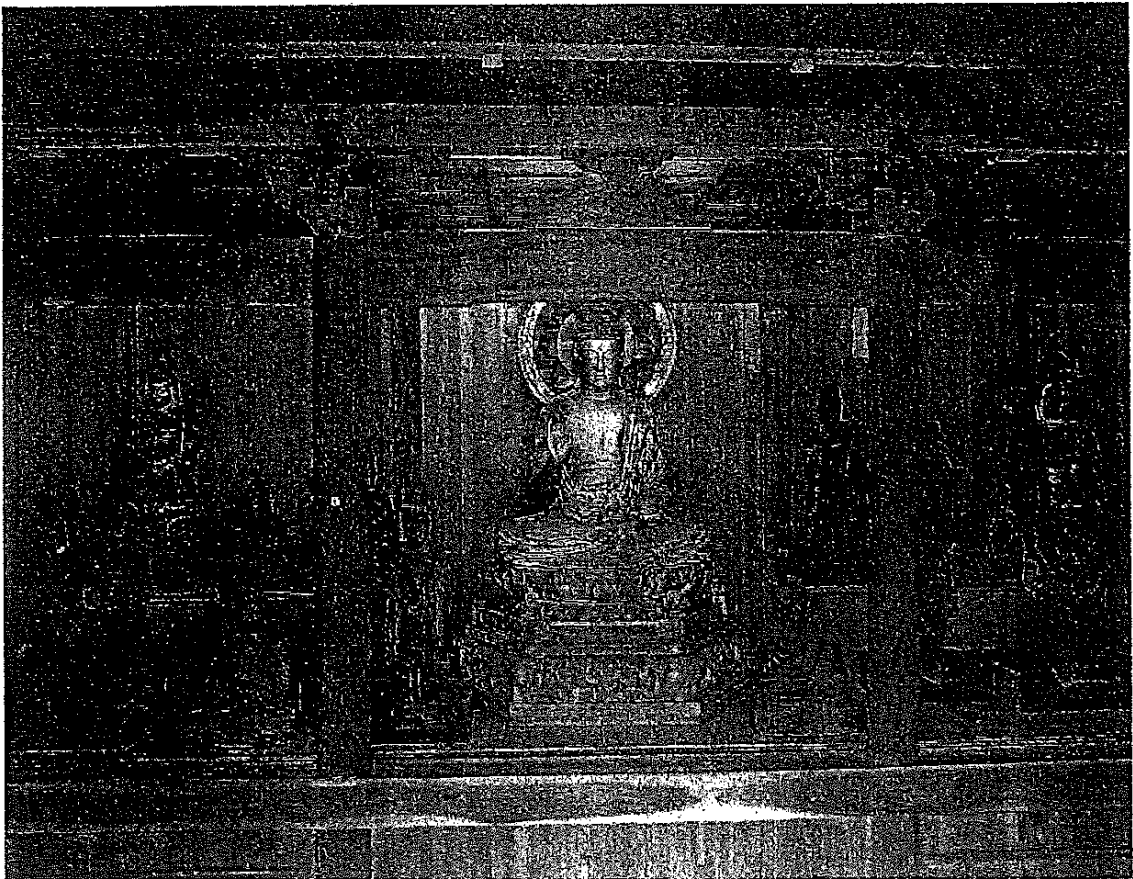
5 県指定文化財数

種 別	有形文化財	無形文化財	民俗文化財	記念物	合計
現在の数	325	1	58	165	549
指定（解除）後の数	326	1	58	165	550

富士石遺跡出土石製裝飾品（ふじいしいせきしゅつどせきせいそうしょくひん）



坂ノ上薬師堂諸像（さかのかみやくしどうしよぞう）



(件名)

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の市町公表状況

(義務教育課)

1 概要

全国学力・学習状況調査（以下「調査」という。）の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、学校における児童生徒への指導の充実や学習状況の改善に役立てることにある。

そのためには、保護者や地域住民が児童生徒の学力や学習状況の課題を共有し、教育上の効果や影響に配慮しながら、調査結果を積極的に公表していくことが重要である。

県教育委員会では、「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の公表方針について」を踏まえ、各市町教育委員会・各学校に対し、方針の趣旨を周知し、調査結果の積極的な公表に努めるとともに、「学力・学習状況調査等を活用したPDCAサイクル」に基づいて、教育に関する継続的な検証を行うよう依頼している。

本報告では、平成29年度市町としての全国学力・学習状況調査の結果公表に関する調査の結果を示す。（別紙：調査結果を参照）

2 公表状況、時期

- ・県内35市町（政令市を含む）が公表している。
- ・9月から12月の期間で分析結果等を公表。
- ・複数回に分けて、公表している市町もある。

3 公表の内容

- ・市町ごとに、学校数・学校規模等が異なるため、一律な公表とはならないが、市町の実態に応じた公表内容となっている。

4 改善方策

- ・全ての市町で改善方法を示す等、PDCAサイクルに基づいた取組が定着している。

5 公表の方法

- ・学校だより、リーフレット、広報誌等の紙媒体、Web上へのアップなどの電子媒体、多様な方法で公表している。
- ・賀茂地区（1市5町）は、賀茂地域教育振興センターと連携しながら、教職員向け（授業改善）リーフレット、保護者向けお便りを作成し、公表する。

6 その他

- ・継続した取組として、各市町・各学校が工夫した公表を実施しており、学力・学習状況調査等を活用した「PDCA」改善サイクルの一部として機能している。

平成29年度市町としての全国学力・学習状況調査の結果公表に関する調査結果

市町	1. 公表の有無		2. 公表時期				3. 公表の内容				4. 調査方針		5. 公表の仕方			
	有	無	9月	10月	11月	12月	その他	教科の 平均正 答率を 数値で 示す	教科の 平均正 答率を 国や県 と比較 示す	教科の 平均正 答率を 国や県 と比較 示す	質問紙 の回答 状況を 数値で 示す	市町と 他の 結果分 析	その他	Web	広報誌 その他	
1 沼津市	○															家庭用リーフレットを、紙媒体で保護者に配布する。
2 熱海市	○															リーフレット
3 三島市	○															各学校からは保護者向けに学校により配布し、市からは12月に保護者向けリーフレットを配布し、市の結果と傾向を公表している。
4 富士宮市	○															リーフレット
5 伊東市	○															市教委が作成する別冊、生徒、保護者用リーフレット、各学校が作成する学校だよりを公表する。質問紙の回答状況や教科別のクロス集計結果、分析結果等を示す。
6 富士市	○															市教委が作成する別冊、生徒、保護者用リーフレット、各学校が作成する学校だよりを公表する。質問紙の回答状況や教科別のクロス集計結果、分析結果等を示す。
7 御殿場市	○															御殿場市教育委員会からのリーフレットとして公表する。
8 下田市	○															東海地区(1市6町)として、東海地域教育振興センターと連携しながら、教職員向け(保護者向け)リーフレット、保護者向けのお知らせを作成し、公表する。
9 裾野市	○															保護者向けリーフレットを保護者に配布(PTA委員)した。 市内各町、こども園に配布し、職員で回答後に園内に掲示した。
10 伊豆市	○															学校だよりと一緒に配布する。
11 伊豆の國市	○															
12 東伊豆町	○															
13 河津町	○															
14 南伊豆町	○															町民の求めに応じて結果を閲覧できるリーフレットを作成、各校の結果公表については、それぞれの学校の判断に任せる。
15 松崎町	○															リーフレット
16 西伊豆町	○															リーフレット
17 函南町	○															「概要版」リーフレットを町教育委員会で作成し各家庭に配布する。
18 清水町	○															リーフレットを作成する
19 長泉町	○															各学校の学校だより、町速報(たより)、町リーフレットを作成する。
20 小山町	○															リーフレット、学校だより(学校だよりはHP上にアップされるのでWebページに掲載されることによる)
21 島田市	○															
22 焼津市	○															
23 掛川市	○															
24 藤枝市	○															
25 御前崎市	○															
26 菊川市	○															リーフレットを作成し、各学校や地域に配布する。
27 牧之原市	○															
28 吉田町	○															
29 川根本町	○															
30 磐田市	○															
31 袋井市	○															
32 湖西市	○															
33 森町	○															
34 静岡市	○															
35 浜松市	○															

(件名)

三島田方地区特別支援学校(仮称)及び浜松地区特別支援学校(仮称)の概要

(特別支援教育課)

静岡県立特別支援学校施設整備基本計画の策定に先行して着手している2校(三島田方地区特別支援学校(仮称)及び浜松地区特別支援学校(仮称))の概要を以下のとおり決定した。

区 分	三島田方地区特別支援学校(仮称)	浜松地区特別支援学校(仮称)
設置目的	沼津特別支援学校の施設狭隘化及び児童生徒の通学負担の軽減	浜北特別支援学校、浜松特別支援学校及び浜名特別支援学校の施設狭隘化及び児童生徒の通学負担の軽減
対 象	知的単一・知的重複	知的単一・知的重複
設置学部	小学部・中学部・高等部	小学部・中学部・高等部
設置場所	東部特別支援学校移転跡地 (伊豆の国市寺家)	気賀高等学校跡地 (浜松市北区細江町広岡)
設置予定日	平成33年4月1日	平成33年4月1日
通学区域	・三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町の全域 ・沼津市のうち静浦中学校区、大平中学校区、長井崎中学校区、戸田中学校区	・浜松市北区の全域 ・浜松市西区のうち湖東中学校区、庄内中学校区 ・浜松市中区のうち萩丘地区
設置規模	150人程度	180人程度
整備手法	新築	改修